

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児聴覚障害Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時限	前期	教室名	603
担 当 教 員	青木 弥穂				
実務経験とその関連資格	言語聴覚士として難聴幼児通園施設に8年勤務し、言語指導、聴能指導を中心に行った。その後、児童発達支援事業所で言語指導に従事する。大阪府言語聴覚士会聴覚分科会に所属。公認心理師資格所持。日本音声言語医学会会員、日本聴覚医学会会員。				
《授業科目における学習内容》					
聴覚障害児のハビリテーションの評価及び指導方法について学習する。 関係機関と連携し、支援のあり方について解説する。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験(70%)、課題(10%)、グループ学習(10%)、小テスト(10%)を実施し、総合的に評価する。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:聴覚障害学第3版(医学書院) 参考書:病気がみえる 耳鼻咽喉科(メディックメディア)					
《授業外における学習方法》					
教科書の該当範囲を熟読し、各回終了後、ノートにまとめる。授業終了後に示すまとめを実施すること。					
《履修に当たっての留意点》					
教科書の該当範囲を熟読し、各回終了後、ノートにまとめる。授業終了後に示す課題を実施すること。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	聴覚障害児のハビリテーション内容について説明できる	教科書・資料	(復習課題)小児聴覚障害Ⅰの内容を復習する	
	各コマにおける授業予定	小児聴覚障害Ⅰの復習、小児聴覚障害Ⅱの概要			
第2回	授業を通じての到達目標	対象に応じて聴覚検査の選択が分かり、検査、面談から聴覚評価ができる	教科書・資料	(予習課題)聴覚障害児の評価項目について復習する	
	各コマにおける授業予定	聴覚障害の評価			
第3回	授業を通じての到達目標	小児で用いる言語検査の目的と結果の見方について説明できる	教科書・資料	(復習課題)各検査の概要をまとめる	
	各コマにおける授業予定	言語検査			
第4回	授業を通じての到達目標	乳幼児聴力検査の内容、手順について説明できる	教科書・資料	(復習課題)各検査の手法と結果の見方についてまとめる	
	各コマにおける授業予定	乳幼児聴力検査①			
第5回	授業を通じての到達目標	乳幼児聴力検査の結果から聴覚補償、コミュニケーション支援が分かる	教科書・資料	(復習課題)各検査の手法と結果の見方についてまとめる	
	各コマにおける授業予定	乳幼児聴力検査②			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	聴覚障害児支援にかかわる指導機関、指導形態、指導内容について説明できる	教科書・資料	(予習課題)聴覚障害児の療育機関について調べる。
	各コマにおける授業予定	指導機関、指導形態、指導方法		
第7回	授業を通じての到達目標	乳幼児期の言葉の課題を対象に合わせて考え、教材作成ができる	教科書・資料	(予習課題)聴覚障害乳幼児期のハビリテーションの内容について教科書を読む
	各コマにおける授業予定	乳幼児期の指導①		
第8回	授業を通じての到達目標	乳幼児期の課題を対象に合わせて考え、教材作成ができる	教科書・資料	(復習課題)聴覚障害乳幼児期のハビリテーションについてまとめる
	各コマにおける授業予定	乳幼児期の指導②		
第9回	授業を通じての到達目標	乳幼児期のコミュニケーション方法、表現方法について考え、教材作成ができる	教科書・資料	(復習課題)聴覚障害乳幼児期のハビリテーションについてまとめる
	各コマにおける授業予定	乳幼児期の指導③		
第10回	授業を通じての到達目標	対象児とその保護者、関連職種との連携について考えることができる	教科書・資料	(復習課題)難聴を含む重複障害児の症候群名、症状を理解し、評価と指導についてまとめる
	各コマにおける授業予定	重複障害児の評価と指導		
第11回	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の障害認識、障害の捉え方、情報保障について説明できる	教科書・資料	(復習課題)聴覚障害児の障害認識、情報保障についてまとめる
	各コマにおける授業予定	障害認識		
第12回	授業を通じての到達目標	軽度・中等度難聴、人工内耳装用児の障害認識と保護者支援について説明できる	教科書・資料	(復習課題)軽度・中等度難聴児の課題、人工内耳装用児の障害認識についてまとめる
	各コマにおける授業予定	軽度・中等度難聴、人工内耳装用児の障害認識		
第13回	授業を通じての到達目標	評価と発達課題を踏まえた指導を学び、学校教育における言語聴覚士の役割について考えることができる。	教科書・資料	(復習課題)学校教育、特別支援教育の課題や内容についてまとめる
	各コマにおける授業予定	学校教育における指導と課題		
第14回	授業を通じての到達目標	症例を通して、対象児の捉え方について学び、訓練経過、コミュニケーション支援について考えることができる	教科書・資料	(復習課題)聴覚障害児の評価・ハビリテーション・保護者支援についてまとめる
	各コマにおける授業予定	個別支援計画作成		
第15回	授業を通じての到達目標	I IIを通して学んだことをまとめ、発表することができる	教科書・資料	(復習課題)小児聴覚障害IIの内容について復習する
	各コマにおける授業予定	事例検討と総括		